

Supporting Practices for Para-Sports

企業 × 障害者スポーツ競技団体等による
障害者スポーツ振興の **取組事例集**



公益社団法人
東京都障害者スポーツ協会

はじめに

当協会では、民間企業、団体等の障害者スポーツへの支援や連携に関するお問い合わせに対し、相談窓口を設置し情報の提供、企画提案、実施支援等を行うことで障害者スポーツの基盤整備に繋げ、もって都内の障害者スポーツの普及振興に寄与することを目的とした『障害者スポーツコンシェルジュ事業』を2016年から実施しています。本事業では障害者スポーツの支援に関心のある企業・団体等の相談に乗り、必要な情報の提供や支援を必要としている競技団体等との連携に向けた調整を行っています。

東京2020大会まで2年を切り、世界最高峰の大会であるパラリンピックの自国開催が刻一刻と迫る中、世間の障害者スポーツに対する意識・注目が飛躍的に高まっています。このことは、相談窓口に関心のある個人、団体、企業の方からの多種多様なお問い合わせをいただくことからも強く感じております。

このような障害者スポーツへの関心の高まりを受け、この度、当協会では障害者スポーツを普及するという同じ目的を持った企業等と競技団体が連携して行っている障害者スポーツの取組をまとめた事例集を作成しました。本事例集では、障害者スポーツコンシェルジュ事業を通してマッチングに至った事例や、企業が独自で行っている先進的な事例など、「ボランティア、雇用、協賛、体験会、施設貸出、物品提供」といった多様なアプローチで障害者スポーツを支援する熱意ある取組を紹介しております。

本事例集が障害者スポーツへの関わりや支援を検討されている企業の皆様にとりまして、今後の取組のきっかけとなれば幸いです。

末筆ながら、本事例集の制作にあたり、事例を紹介させていただくことに快くご協力いただいた企業、競技団体等の皆様にお礼申し上げます。


2018年11月

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会


目次


はじめに	01
目次	02
障害者スポーツコンシェルジュ事業とは	03
障害者スポーツ基礎知識	04
取組事例集	05～14
01 休館日の活用でパラアスリートを支援 	 05 野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 × 東京ボッチャ協会
02 マラソン大会を通じてボランティア交流 	 06 プルデンシャル生命保険株式会社 × 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
03 昇降式表彰台AwardLiftで、祝福の演出を 	 07 新東工業株式会社、株式会社メイキコウ × NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟
04 学内施設がパラリンピアンへの練習拠点に	  08 学校法人立教学院 × 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟、一般社団法人日本知的障害者水泳連盟
05 月に一回定期的に体験会の場を提供	  09 株式会社オフィス24 × 一般社団法人日本パラバレーボール協会
06 職員・子どもたちへの理解啓発	   10 PwC Japanグループ × 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟
07 東京2020大会に向けた機運醸成 	 11 学校法人藤村学園 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 × 各障害者スポーツ競技団体
08 ボッチャを起点に広がる企業活動	  12 株式会社CAC Holdings × 一般社団法人日本ボッチャ協会
09 障害者スポーツの支援をきっかけに障害者支援事業を立ち上げ	   13 堀江車輛電装株式会社 × 特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟
10 企業野球チームと障害者野球チームによる交流 	 14 株式会社ゼンコー × 東京ブルーサンダース

各ページの
マークに
ついて

 障害者スポーツコンシェルジュ事業からマッチングにつながった事例

 支援の種類

 施設貸出


 ボランティア

 物品提供

 協賛

 体験会

 理解啓発

 アスリート雇用

障害者スポーツ コンシェルジュ事業とは

障害者スポーツの支援に関心のある企業・団体等の相談に乗り、必要な情報の提供や支援を必要としている競技団体等との連携に向けた調整を行っています。障害者スポーツの支援についてご検討の場合は、障害者スポーツコンシェルジュにご連絡ください。

?? 障害者スポーツを支援したい。
でも、何をしたらいいかわからない…



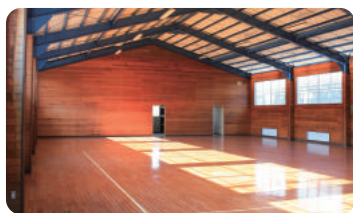
企業



障害者スポーツ大会の
観戦に行って、
応援してみませんか？



競技団体・大会運営の
支援をしてみませんか？



自社のスポーツ施設を
練習場所として
提供してみませんか？



障害者スポーツ
コンシェルジュ



障害者スポーツについて
「知る」ことから始めてみませんか？
体験会や講習会などの
相談も受け付けています。

コンシェルジュ専用電話

| 受付時間 | 平日10時～17時 (12時～13時を除く)

03-6265-6123



公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
障害者スポーツコンシェルジュ担当
(Tokyo Sports Association for Persons with Disabilities)

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ12階
[HP] <http://tsad-portal.com/> [FAX] 03-5206-5587
※メールによるお問合せは当協会HPお問合せフォームよりお送りください。

障害者スポーツ基礎知識

～障害者スポーツの支援を始める前に～

障害者スポーツとは？

障害者のための特別なスポーツがあるわけではなく、競技規則や用具を一部変更し、改良することで安全にかつ公平に行うことができるよう、障害の状況に合わせて行っているスポーツを広く「障害者スポーツ」と捉えています。

どんな障害があるだろう？



主な大会について

国際大会ではパラリンピックやデフリンピック、グローバルゲーム、スペシャルオリンピックス世界大会等があります。国内のスポーツ大会としては全国障害者スポーツ大会、ジャパンパラ競技大会の他、競技団体が主催する大会等様々な大会があります。また、できるだけ公平な条件で競技が行えるように、大会により分け方の基準は異なりますが、障害の状態に応じて区分ごとに競技が行われます。



全国障害者スポーツ大会



全日本パラ・パワーリフティング選手権大会

スポーツ種目・用具について

例えばサッカーという一つの競技でも、ルールや用具の工夫で異なる障害があってもプレーできます。



ブラインドサッカー (視覚障害)



アンプティサッカー (肢体不自由)



電動車いすサッカー (肢体不自由)

障害者スポーツを支える人たち

障害のある方が、身近な地域でスポーツに親しむ環境を広げていくには、支える人たちの存在が欠かせません。特に重要な役割を担っているのが『障がい者スポーツ指導員』です。技術的な指導だけでなく、障害に関する専門的な知識を有し、障害のある方が安全にスポーツを楽しむ、心身の機能やスポーツ技術を向上していくためのサポート等を行います。また、資格を持っていなくてもボランティアとして大会やイベントを支えてくれる方々の存在もまた、障害のある方々のスポーツ振興にとってなくてはならない存在です。

休館日の活用で パラアスリートを支援



企業

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
(スポーツクラブメガロス)

【業種&事業内容等】
スポーツ施設の企画経営及びコンサルタント等

団体

東京ボッチャ協会

企業のニーズ・課題

都内の自社施設(スポーツクラブ)を障害者スポーツの練習に役立てたい。

団体のニーズ・課題

車いすを使用したまま利用できる施設が限られており、選手の練習場所が確保できない。



連携の成果

東京ボッチャ協会と野村不動産ライフ&スポーツ株式会社との間で施設利用協定を結び、東京アスリート認定選手、日本ボッチャ協会強化指定及び育成指定選手等を対象にスポーツクラブメガロス田端店を休館日に無償で練習場所として貸し出すことになった。現在東京ボッチャ協会の選手は施設を利用して技術の向上に励んでいる。

今後の展開

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社は従来不十分であった練習環境を整備し、練習機会を創出することによって、選手のさらなる技術向上と競技の普及促進に貢献するとともに、今後もパラアスリートの総合的な支援を視野に入れ、他競技についても支援・受け入れ態勢の準備等を検討していく。

CASE

01

マラソン大会を通じて ボランティア交流

CASE

02



企業

プルデンシャル生命保険株式会社

【業種&事業内容等】生命保険事業

団体

社会福祉法人東京都社会福祉協議会

企業のニーズ・課題

社会貢献のため、社員が年に一度ボランティアに参加する取組を継続的に実施

団体のニーズ・課題

「福祉マラソン大会」の運営を支えるボランティアが不足



連携の成果

2017年11月に荒川河川敷で行われた東京都社会福祉協議会主催の「心をつなげる福祉マラソン大会」にプルデンシャル生命保険株式会社 首都圏第四支社、首都圏第十支社の社員42名がボランティアとして運営に協力。

「心をつなげる福祉マラソン大会」は知的障害のある方やそのご家族等約300名が参加するマラソン大会で、第30回という節目を迎えるにあたり、今年度から知的障害のある方と一般社会との交流を深めることを目的として、企業ボランティアを募集した。

プルデンシャル生命保険株式会社は支社ごとに年に一度ボランティアに参加する取組を行っており、当日はコース整理や誘導等で運営に協力したほか、事前に障害者施設を見学するなど、障害のある方への理解を深める機会となった。

今後の展開 今回の連携を踏まえて今後も継続的に協力体制を築いていく。

昇降式表彰台 AwardLiftで、 祝福の演出を



物品提供

企業

新東工業株式会社
株式会社メイキコウ

【業種&事業内容等】

ものづくり支援設備システム(各種産業機械)、
シザーリフト事業 コンベアシステム事業 等

団体

NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟

企業のニーズ・課題

自社グループの商品・技術を活用した
障害者スポーツの応援

団体のニーズ・課題

大会の観戦客増加に向けた取組検討
表彰式の活性化

連携の成果

車いすアスリートが順位毎の表彰台に乗りメダルを受けたあと、リフト機構で順位毎の高さまで上昇する「昇降式表彰台」を、日本パラ・パワーリフティング連盟に無償貸与。

2018年5月に開催された「第1回チャレンジカップ京都」表彰式で活用され、いつも増して華やかで喜びいっぱいの笑顔と祝福の声があふれた。



©西岡浩記



1.

同じ目線から祝福

2.

リフトアップして
フォトセッションへ



片手に載るリモコンで
簡単操作

CASE

03

今後の展開 各競技団体の開催予定大会での採用希望を歓迎
昇降機メーカーの強みを活かして障害者スポーツ大会を盛り上げていく。

学内施設が パラリンピアン の練習拠点に



企業

学校法人立教学院

【業種&事業内容等】教育

団体

一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟

一般社団法人日本知的障害者水泳連盟

企業のニーズ・課題

障害者スポーツの支援、学生への障害者スポーツの理解啓発

団体のニーズ・課題

練習場所の確保

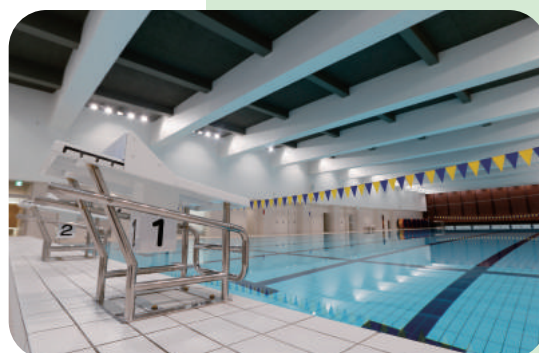
連携の成果

学校法人立教学院は、2014年に一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟と施設利用に関する覚書を締結し、池袋キャンパスの総合体育館「ポール・ラッシュ・アスレティックセンター」の室内温水プールを練習場所として提供している。

2017年には一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟及び一般社団法人日本知的障害者水泳連盟と「連携協力に関する包括協定」を締結し、施設の貸し出しだけでなく、正課授業「2020年東京パラリンピック支援を考える」への講師派遣や学生を対象とした練習見学会を開催する等、様々な連携を進めている。なお、当施設は2017年にパラリンピック水泳競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(夏季競技)にも指定されている(2018年も継続)。

2016年に開催されたりオデジャネイロ・パラリンピック水泳競技では、当施設で練習を行った選手の中から複数のメダリストが輩出された。東京2020大会で活躍が見込まれる選手たちが日々鍛錬をしている。

今後の展開 障害者スポーツ体験会の開催、「立教オリパラ応援団」に登録した学生に、イベントやボランティアの情報を提供するなど、障害者スポーツの理解啓発に関する様々な取組を行っていく。



月に一回定期的に 体験会の場を提供

05



企業

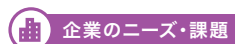
株式会社オフィス24

【業種&事業内容等】ネットワーク事業等



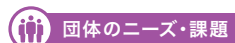
団体

一般社団法人日本パラバレーボール協会



企業のニーズ・課題

体験会の開催



団体のニーズ・課題

大会等への協賛



体験会



協賛



連携の成果

株式会社オフィス24では、一般社団法人日本パラバレーボール協会のスポンサーとして、パラリンピック競技であるシットイングバレーボール日本代表選手団に対してサポートを積極的に行っており、年2回開催される同協会主催の全国大会に協賛している。

また、月に一度定期的に、シットイングバレーボール日本代表監督・選手等の協力を得ながら体験教室を開催することによって、競技の普及啓発活動に取り組んでいる。体験会は誰でも参加でき、ルール説明からパスやレシーブ等の基礎練習、ゲーム形式まで、パラリンピアンから直接指導を受けることができる貴重な機会を提供している。

その他にも、社内にシットイングバレーボールのオリジナルチームを持ち、全国大会に出場し競技者との交流を図る等、シットイングバレーボールの競技普及に対する幅広い支援活動を行っている。

今後の展開 シットイングバレーボールの競技普及に向けた支援活動を今後も広げていく。

職員・子どもたちへの理解啓発



協賛



アスリート雇用



体験会



企業

PwC Japanグループ

【業種&事業内容等】

会計監査、アシュアランス、
コンサルティング、ディールアドバイザー、
税務サービス、法務サービス



団体

一般社団法人

日本車いすバスケットボール連盟



企業のニーズ・課題

障害者雇用促進、
社内のダイバーシティ&インクルージョン推進



団体のニーズ・課題

競技の普及啓発



連携の成果

PwC Japanグループは一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟のオフィシャルサポーターとなっており、車いすバスケットボールと電動車いすサッカーの選手を職員として雇用し、競技活動と職業生活の2つのキャリアを同時に進める「デュアルキャリア」を支援している。

障害者スポーツの普及啓発のために、都内及び関西の小中学校10校で選手による体験教室を開催し、2017年は約1,200人の小中学生が参加した。合わせて、職員・家族を対象にした体験会や車いすバスケットボールの大会ボランティアを通じて法人内のダイバーシティ&インクルージョン推進に努めている。

今後の展開 今後は、特別養護学校や障害者職業訓練学校での車いすバスケットボール体験会にも注力していく。

CASE

06

東京2020大会に向けた 機運醸成



企業

学校法人藤村学園
東京女子体育大学・
東京女子体育短期大学
【業種&事業内容等】教育

団体

各障害者スポーツ競技団体

企業のニーズ・課題

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、オリンピック・パラリンピック教育の推進や、大会機運の醸成を図る

団体のニーズ・課題

パラリンピック競技の普及・理解啓発



連携の成果

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、オリンピック・パラリンピック教育の推進や、大会機運の醸成を図ること等を目的とし、2014年4月に東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクトを発足。これまで、卓球、ボッチャ、ゴールボールなど様々なパラリンピック競技を学生や地域住民が体験することができる体験会を開催。各体験会には、パラリンピアンを講師として招き、参加者が競技を選手と共に楽しめる貴重な機会を提供するとともに、パラリンピック競技の理解啓発につなげている。

今後の展開 今後も継続的に様々な競技の体験会を実施していく。



CASE

07



ボッチャを起点に 広がる企業活動

CASE

08



ボランティア



協賛



企業

株式会社CAC Holdings

【業種&事業内容等】

企業向けITサービス(金融・医薬等)



団体

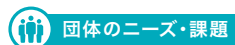
一般社団法人

日本ボッチャ協会



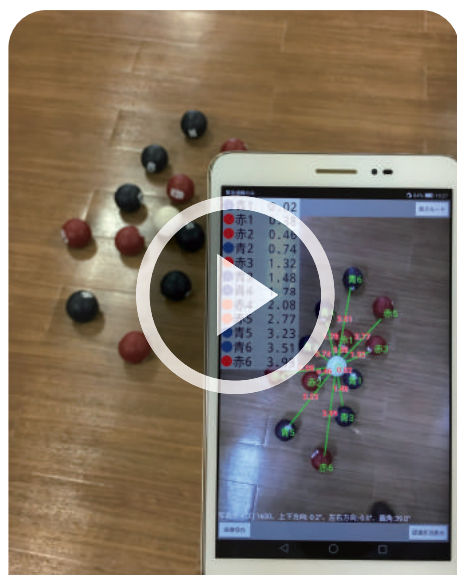
企業のニーズ・課題

障害者スポーツ支援、社員教育



団体のニーズ・課題

大会等の協賛支援、競技の普及



連携の成果

株式会社CAC Holdingsでは、ボッチャが誰もが知っているスポーツとなること、障害のある人がボッチャに参加できる機会を増大させることなどを目標としながら、ボッチャの普及・支援活動を行っている。

一般社団法人日本ボッチャ協会のゴールドパートナーとして協会活動に対する支援のほか、審判員資格を持つグループ社員の国内大会への派遣、各地で行われるボッチャイベントのサポート、競技普及のためのPR活動、用具寄贈などを行っている。また、社員研修にボッチャを取り入れることで社員同士のコミュニケーション活性化に役立てたり、社員自らがボッチャを楽しむ機会を作るなどしている。2017年からは、都内の特別支援学校生徒を対象とした学校対抗のボッチャ交流大会「CACカップ」を社員の企画・運営で開催している。

また、CACグループの主要事業であるITを活用したボッチャ観戦環境の構築にも取り組んでおり、2016年12月にはボッチャボール間の距離を測定するAndroid アプリ「ボッチャメジャー (©2018 CAC Corporation、特許第6214746号)」を開発。2018年8月からは、Google Playで無料配信を開始した。ボッチャメジャーによって試合のスムーズな進行を支えるほか、試合の様子を観客に分かりやすく伝えている。

今後の展開 今後も資金面の支援だけでなく社員手ずからの支援を継続していきたい。またITを活用し、試合コートと観客席間の距離を埋め、大会を盛り上げられるようなツールを検討していく。

障害者スポーツの 支援をきっかけに 障害者支援事業を 立ち上げ

09



企業

堀江車輛電装株式会社

【業種&事業内容等】

鉄道車両事業、障害者支援事業（職業紹介サービス・企業向けの障害者雇用コンサルティング・障害者スポーツサービス）、ビルメンテナンス事業

団体

特定非営利活動法人

日本知的障がい者サッカー連盟

企業のニーズ・課題

障害のある人の力になりたい

団体のニーズ・課題

大会協賛、広報支援、遠征の補助 等

連携の成果

堀江車輛電装株式会社では、堀江社長が2010年に南アフリカで行われた、国際知的障がい者スポーツ連盟が主催するサッカー世界選手権大会に感銘を受けたことから障がい者サッカーを支援したいと考え、2013年から日本知的障がい者サッカー連盟のスポンサーとなり、広報・企画運営のサポートを開始した。スポーツブランドと連盟が共同制作した応援Tシャツの販売支援により海外遠征費の捻出、日本代表チームへの物品提供、連盟ホームページの制作など日本知的障がい者サッカー連盟を幅広く支援して

いる。知的障がい者サッカー日本代表チームの支援をしていく中で、選手たちの雇用状況に課題を感じたことから、2015年に障がい者支援事業（トライアングル）を立ち上げる。就職を希望している障害者への職業紹介サービスや企業向けの障害者雇用コンサルティング、大学や行政、企業に障害者理解を促す目的とした障害者スポーツサービスを展開している。さらに、自社内での障害者雇用の枠を広げる施策として、2016年にはビルメンテナンス事業を開始し、積極的に障害者雇用を行い、付加価値の高い清掃サービスの提供を行っている。また、雇用する障害のある社員の中にはパラアスリート（知的障がい者サッカー日本代表）の選手もあり、会社としても積極的に障害者スポーツ選手の支援を行っているほか、東京都委託事業として車いすテニスなどの体験教室の開催や、車いすソフトボールの大会協賛、知的障害者バスケットボールやボッチャ教室などを各地で実施し、障害者スポーツ全体の普及にも力を入れている。

今後の展開 東京2020パラリンピックというイベントを控え、社会的気運が高まっている中、教育機関や行政、企業に障害者理解を促す目的とした障害者スポーツサービスをさらに展開し、パラリンピック日本代表選手とのスポーツ体験会や大学での障害者スポーツに関する講義の実施などを通じて、馴染みやすい方法で障害理解を促すことで、障害者に対する企業の感度を高めていく。



©UCHIDA Kazutoshi

堀江車輛電装株式会社
障がい者支援事業部（トライアングル）
特定非営利活動法人
日本知的障がい者サッカー連盟

<http://horie-sharyo.co.jp/>
<http://h-tryangle.jp/>
<http://jffid.com/>



堀江車輛電装株式会社

福社を頼らず。セカイが変わる。
tryangle



JFFID
特定非営利活動法人
日本知的障がい者サッカー連盟

企業野球チームと 障害者野球チームによる交流



企業

株式会社ゼンコー

【業種&事業内容等】
交通誘導警備、施設警備 等

団体

東京ブルーサンダース
(障害者野球チーム)

企業のニーズ・課題

自社チームの野球を通しての社会貢献や
活動の場の開拓

団体のニーズ・課題

障害者野球の普及・理解啓発



CASE

10

連携の成果

ZENKOグループの女子硬式野球チーム「ZENKO BEAMS」の選手が障害者野球チーム「東京ブルーサンダース」の練習会に参加。BEAMSとしては、東京ブルーサンダースの選手のプレーから改めて野球というスポーツに対する気づきを与えられ、東京ブルーサンダースとしては障害者野球を知ってもらうきっかけとなった。また、キャッチボール、トスバッティング、シートノックなど同じ野球というスポーツを通じて、お互いに野球で全国の頂点を目指す者同志、相互理解を深める契機となった。

今後の展開 今後も継続的にお互いのチーム観戦や合同練習を実施し、交流を深めていく。



公益社団法人東京都障害者スポーツ協会